

## 付属資料・目次

改修特記仕様書（抜粋）	特 1
現場説明付記事項・案内図・配置図・搬入計画図	1
機器表（撤去・改修） 空気調和設備図 （撤去・改修）	2

京都大学（南部）南病棟空気調和設備（間接蒸気発生器）改修工事

## I 工事概要

- |         |                           |
|---------|---------------------------|
| 1. 工事場所 | 京都市左京区聖護院川原町54（京都大学病院東構内） |
| 2. 完成期限 | 令和9年1月29日（水曜日）            |
| 3. 建物概要 |                           |

### 3. 建物概要

建 物 名 称		南病棟	
工 種		模様替	
構 造		R	
階 数		地上 8 階地下 1 階	
建築基準法による	建築面積 (㎡)	3,844	
	延べ面積 (㎡)	22,708	
消防法施行令別表第一の区分		6項 (イ)	
改 修 面 積 ( ㎡ )		68	
備 考		――	

#### 4. 工事種目

⑤ 印の付いたものが対象工事種目

工 事 種 目	工 事 種 別		
建 物 名 称	南病棟		
空 気 調 節 設 備	○		
換 気 設 備	・		
排 煙 設 備	・		
自 動 制 御 設 備	・		
衛 生 器 具 設 備	・		
給 水 設 備	・		
排 水 設 備	・		
給 湯 設 備	・		
消 火 設 備	・		
ガ ス 設 備	・		
雨 水 利 用 設 備	・		
撤 去 工 事	○		

本工事は、南病棟の間接蒸気発生器（2台中1台）の更新を行うものである。

5. 指定部分 ☒ 無 ☐ 有 対象部分 ( )  
指定部分工期 令和 年 月 日 ( 曜日)
6. 概成工期 ☒ 無 ☐ 有 令和 年 月 日 ( 曜日) (1.2.1) [1.2.1]

## Ⅱ 工事仕様

## 1. 共通仕様

- (1) 国立大学法・各大学契約事務取扱要領(平成16年4月1日財務担当理事等決定制定)別記の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書によるほか、〇のついたものを適用する。
- 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)
  - 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
  - 公共建築設備工事標準図面(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準図面」という。)
  - 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)(以下「文科仕様書」という。)
  - 文部科学省機械設備工事標準図面(特記基準)(平成31年版)(以下「文科標準図面」という。)
  - 工事写真撮影要領(令和5年9月)

## 2. 施工条件

この工事現場では、次の施工条件による

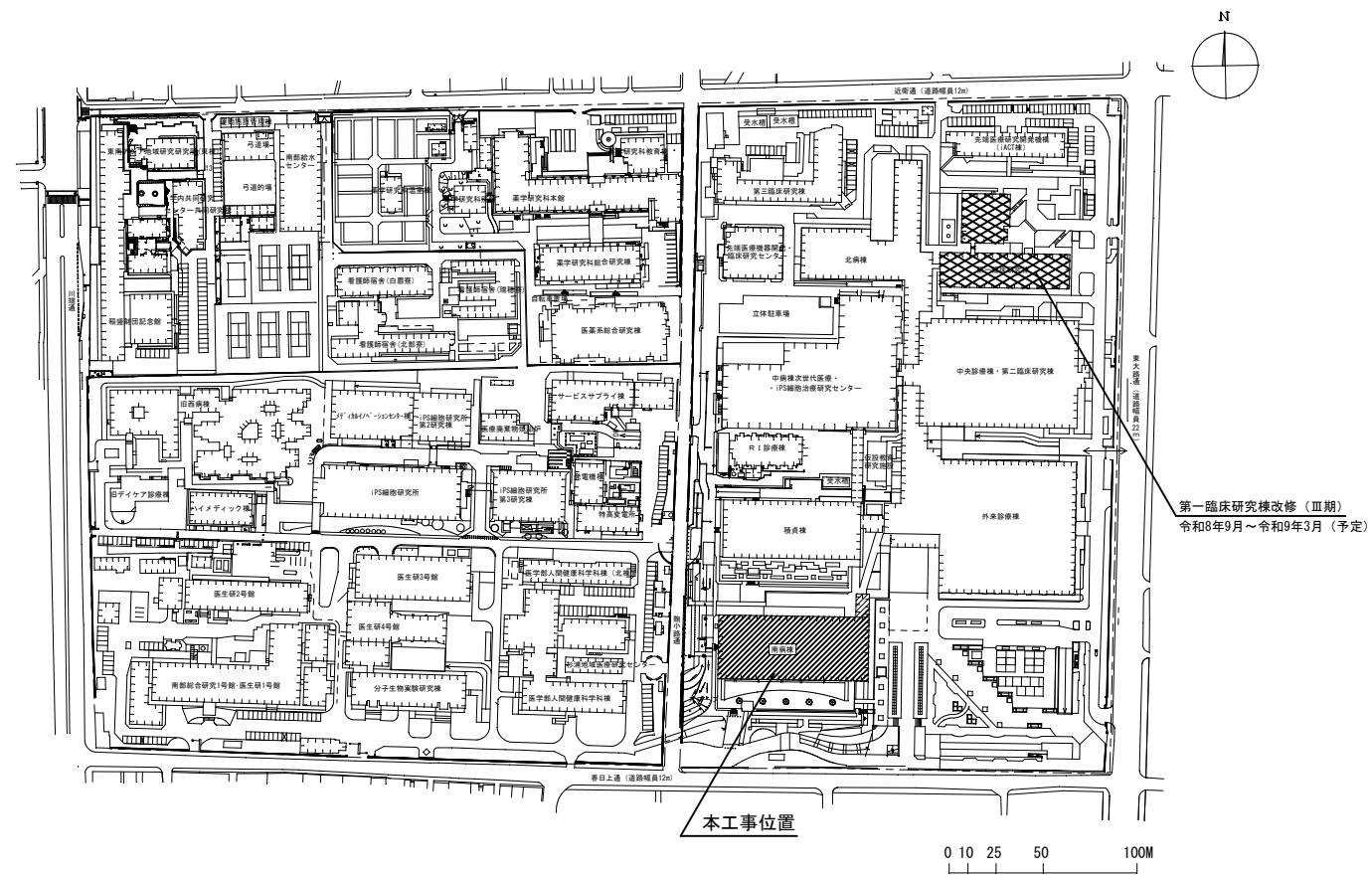
- (1) 本工事建物周囲には、研究棟および住宅等が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分配慮すること。
- (2) 建物や敷地周辺に影響すると考えられる騒音・振動・粉塵・臭気等作業は、原則土日祝に実施し、事前に監督職員と協議の上で進めること。また施工中の防音対策を十分に講じること。
- (3) 工事用地および工事用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入時などに周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。
- (4) 騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。
- (5) 臭気発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。
- (6) 工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。
- (7) 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
- (8) 作業時間は、午前8時から午後5時を原則とし、騒音・振動を伴う作業は休診日（土日祝日）に行うものとする。

工事名称 京都大学（南部）南病棟空調設備（間接蒸気発生器）改修工事	縮尺 A 3 : -	図面番号  <b>特 1</b>
図面名称 改修特記仕様書（抜粋）	令和 8 年 5 月	

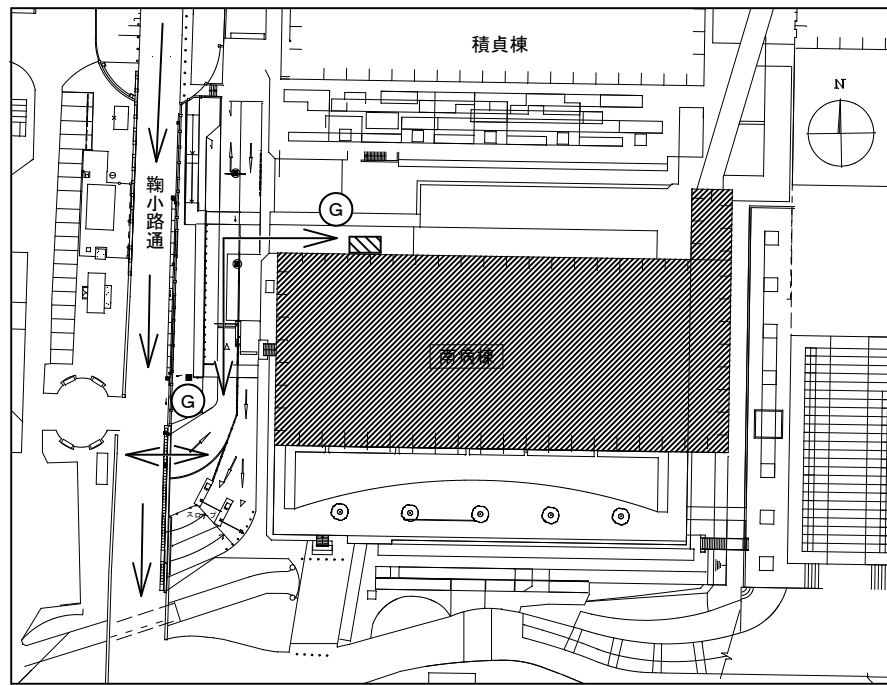
現場説明付記事項

- 1 工事施工上の注意事項
- 1) 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。  
工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
  - 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入ができないようにすること。  
また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することとし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
  - 3) 学校行事・病院行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
  - 4) 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
  - 5) 教職員、医療関係者、学生、患者等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。
  - 6) 埋蔵文化財を発見した時は、ただちに工事を中止し、監督職員の指示を受けること。
  - 7) 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
  - 8) 地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
  - 9) 工事用地は、工事完成時には現状に復帰して返還すること。
  - 10) 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
  - 11) 作業時間は、午前8時から午後5時を原則とし、騒音・振動を伴う作業は休診日（土日祝日）に行うものとする。
  - 12) 病院構内及び、周辺道路、近隣住宅地付近は一切禁煙とする。

- 2 工事中の構内安全対策について
- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
  - 2) 掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
  - 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
  - 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
  - 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
  - 6) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナー部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。
  - 7) パネルゲートには電子音つき回転灯を設置するなど事故防止に努めること。



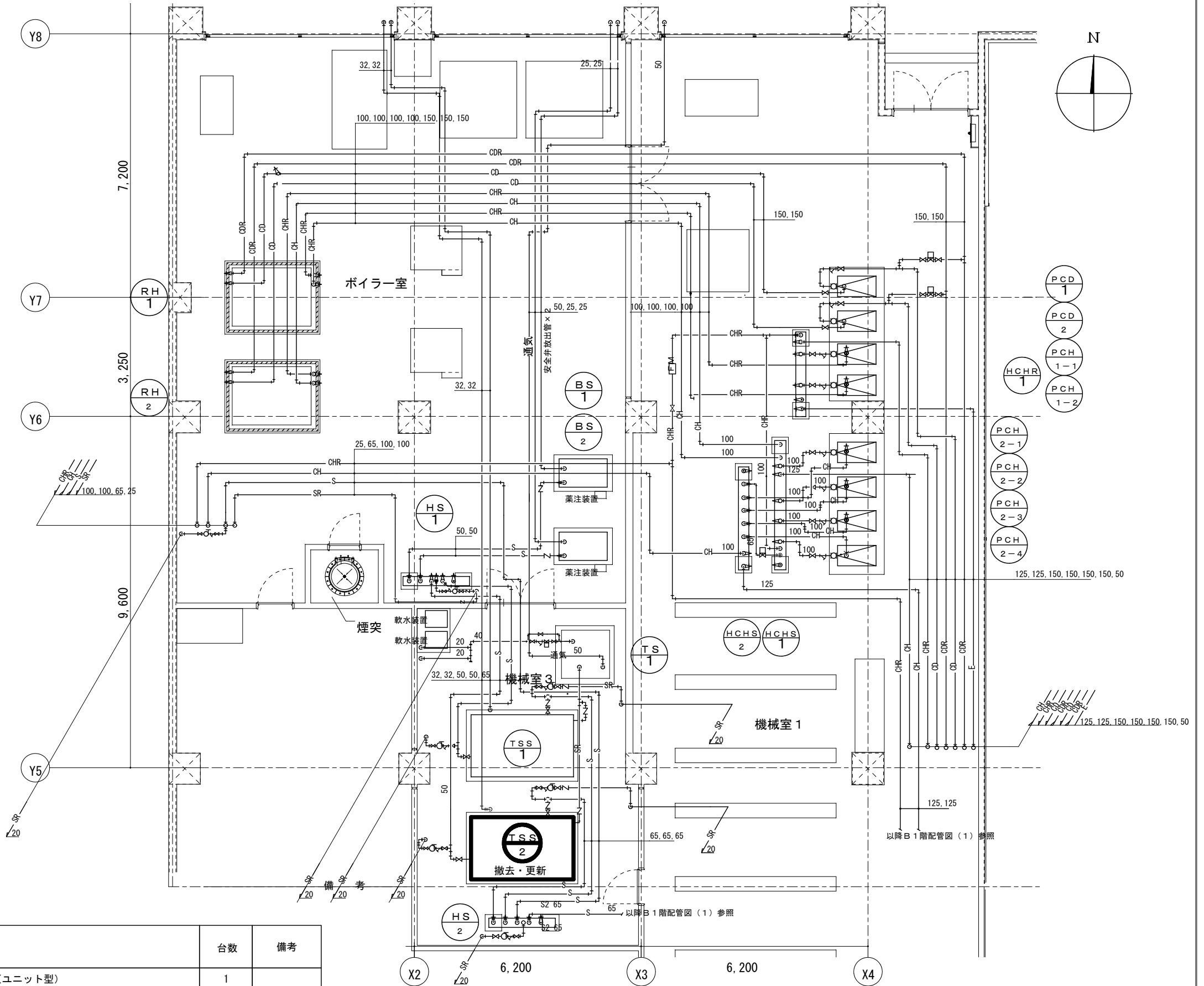
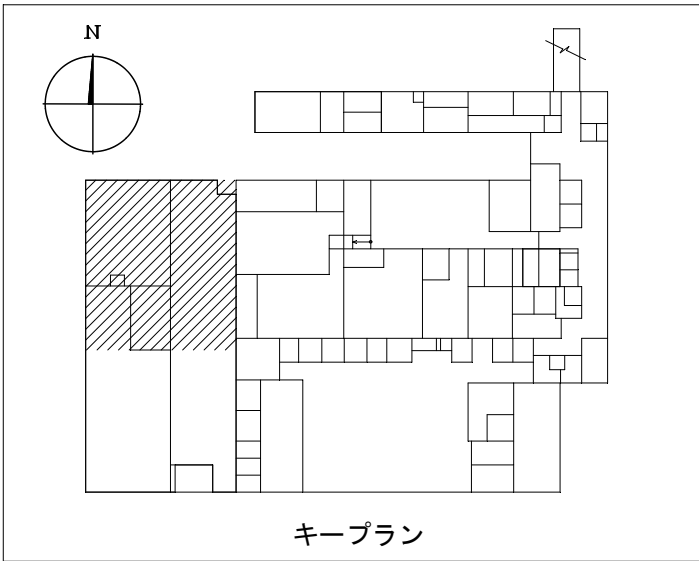
配置図 S=1/2000



搬入計画図 S=NS

凡例	
	本工事建物
	工事用地
	別途、工事中建物
	既存建物
	資材搬入経路
	資材搬入時のみ

工事名 京都大学（南部）南病棟空調調和設備（間接蒸気発生器）改修工事			令和 8 年 5 月	図面番号
現場説明付記事項・案内図・配置図 搬入計画図	縮尺 S=1/2000, NS	種別		1
			京都大学 医学部附属病院	



機器表（撤去・改修）

機器番号	名 称	仕 様	台数	備考
TSS-2	間接蒸気発生器	型式：シェル&チューブ型間接蒸気発生器（ユニット型）	1	
		蒸気発生量 410kg/h (0.2MPa)		
		一次蒸気量 476kg/h (0.4MPa)		
		交換熱量 278.6kW		
		伝熱面積 11.4㎡		
		付属品：制御盤、補給水タンク、補給水ポンプ、軟水装置、自動ブロー装置、		
		予熱用熱交換器、一次蒸気調整弁、ユニット内制御線、共通ベース他付属品共		

※改修対象の機器仕様を示す。

空調設備図（地階平面図 撤去・改修） S=1/400

工事名 京都大学（南部）南病棟空調設備（間接蒸気発生器）改修工事		令和 8 年 5 月	図面番号
機器表（撤去・改修）	縮尺 S=1/400	種別	2
空調設備図（撤去・改修）		京都大学 医学部附属病院	